学校番号	３０６

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭総合　自立・共生・創造　（東京書籍株式会社）						
副教材等	自立・共生・創造　家庭総合学習ノート　教科書準拠　（東京書籍株式会社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、主体的・積極的に取り組みましょう。
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざしして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画 製作計画 実習記録表 レポート 発表 自己評価　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画 製作計画 実習記録表 レポート 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 製作品 観察記録表 レポート 発表 定期考査 実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画 製作計画 実習記録表 観察記録表 レポート 発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第7章 衣生活をつくる	○なぜ服を着るの？ １．保健衛生上の機能 ２．社会生活上の機能 ○衣服を入手しよう １．衣服の購入と選択 ２．衣服の材料 ３．衣服の構成 ○衣服をつくってみよう！ １．衣服製作の手順 ＊エプロン製作実習 ○衣服を管理しよう １．衣服の手入れ ２．衣服の保管 ３．衣服の環境	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a：被服の機能，文化，着装，被服管理について関心をもち，実生活で活用しようとする意欲を持って学習に取り組んでいる。 b：着装、被服の選択、被服管理などに関わる様々な課題について考え、まとめることができる。 c： 被服管理や被服製作についての技術が身に付いている。 d： 着装、被服材料、被服の構成、被服製作、被服管理などについて、科学的に理解し、安全と環境に配慮した衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ノート プリント ワークシート 定期考査 レポート 実習記録 製作物

2学期	第6章　食生活をつくる	○食生活を見つめよう １．食事の持つ機能 ２．現代の食生活の課題 ＊自分の食事を振り返る	○	○	○	○	a：自分の食生活を振り返り，学習した内容を自らの食生活に活用しようとする意欲をもって学習に取り組んでいる。	授業観察 ノート プリント ワークシート 定期考査 レポート 実習記録
		○私たちが食べているもの １．栄養素とは ２．栄養素の働き ３．食品を知ろう	○	○	○	○	b：環境に配慮した食生活の在り方（食品廃棄）について課題解決に向けて考え、工夫している。	
		○安全･安心な食品を選ぼう １．食品の選択 ２．食品の保存 ３．食品の安全を守る	○	○	○	○	c：主体的に食生活を営むために必要な栄養、食品の選択、調理、食生活の管理などの技術を調理実習を通して身に付けている。	
		○献立と調理 １．献立を立てよう ＊献立を立てる ２．何をどれだけ食べる？ ３．調理してみよう ＊調理実習 （和食・中華・洋食） ４．おいしく調理するために	○	○	○	○	d：栄養、食品、調理、食品衛生等について、実験や実習を通して科学的に理解し、食生活に必要な知識を身に付けている。	
		○食と暮らしのかかわり １．食生活の継承 ２．食料自給率の低下と食育 ３．環境について考えよう	○	○	○	○		

3学期	第8章　住生活をつくる	○人と住まい １．住まいの役割 ○住まいの空間と構成 １．空調はどう構成されるの？ ２．快適に暮らす ３．住まいの移り変わり ＊間取り実習 ＊色の効果を知る ○住まいと安全 １．安全に暮らす ２．外部からの安全 ○住まいと社会 １．住まいの今 ２．さまざまなつながり ○住まいと環境 １．文化と住生活 ２．住居の維持と管理 ３．環境と住生活 ＊防犯や丈夫な家を考える	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a：住居の機能や文化などに関心を持ち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。 b：自分のライフスタイルや価値観に合う住居の選択について、主体的に考え、工夫している。日本の住居の現状を理解し、課題について考えをまとめている。生活の質を高める住居計画を考え、工夫している。 c：住生活の計画に必要な情報を収集・整理することができる。 d：住居の機能、住空間計画、住環境などについて科学的に理解し、安全と環境に配慮した住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ノート プリント ワークシート 実習記録 製作物 定期考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。